【井原市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るなかで、それぞれの児童生徒が1人1台端末を使う場面を適切に選択し活用する。児童生徒一人ひとりが自分の強みを活かしながら積極的に他者と協働することで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。

【個別最適な学び】

最適な教材や学習環境を提供することで指導の個別化をはかる。また学習の個性化として、児童生徒個別の課題に児童生徒が、それぞれのやり方・それぞれのペースで自己調整しながら学習を進める。

【協働的な学び】

共有機能・共同編集ツールなどを利用し他者の意見や考えを参照するとともに、多様な他者と意見を交わすことで自分自身の考えを広げたり、深めたりすることにつなげる。

2. GIGA第1期の総括

井原市では令和2年度末に1人1台端末の整備を行い、令和3年度より本格的な使用を始めた（学習者用端末 2,627 台・指導者用端末 370 台）。アプリケーションとしてドリル教材・協働学習ツールも導入し、児童生徒が端末を利用し1人で学習できることや、学級などで協働的な学び・対話的な学びが推進されることを狙った。

授業においては、データでのワークシートの配付・回収をおこなったり、児童生徒一人ひとりの考えをクラス全体で共有し考えを広げたり、動画を自分のペースで視聴したりするなど効果的に端末が使用されている。

また、サポート体制として、井原市立小中高等学校・大山塾に ICT 支援員を配置するとともにヘルプデスクを設置し ICT に関わる校務や1人1台端末を使用した授業の支援やトラブルに対応する環境を整えた。

令和4年度から試験的に1人1台端末の持ち帰りを行い、ICT を利用した家庭学習についても各校で工夫した取組が行われた。令和5年度からは、年間を通じて全校で持ち帰りを実施しており、ドリル教材の課題はもちろん、次時の授業につながる予習的な課題や動画を視聴する課題、プレゼンを作成する課題など ICT ならではの課題が

課され、児童生徒の主体的な学びにつながっている。

一方で令和 6 年度の全国学習状況調査における「授業でほぼ毎日端末を使用している児童生徒の割合」は小学校 20.9%（全国 25.3%） 中学校 33.3%（全国 31.0%）であり、授業における活用頻度に課題がみられることから、授業における1人1台端末の具体的な活用場面の共有を一層図る必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末の確実な整備・更新を行う。1人1台端末環境を引き続き維持するとともに、1人1台端末が効果的に活用されるよう以下のとおり推進する。

（1） 1 人 1 台端末の積極的活用

引き続き ICT 支援員の配置とヘルプデスクの設置を行い ICT に関わる校務、学習指導の支援とトラブルに対応する体制を整える。また、ICT の活用に苦手意識を持っている教員を対象とした研修を実施し、端末活用の促進を図る。新しく活用できるアプリや授業における活用、持ち帰りの取組についての学校間の共有を図り、端末活用促進につなげていく。

（2） 個別最適・協働的な学びの充実

調べる場面、まとめる場面、児童生徒同士がやりとりする場面、児童生徒と教師がやりとりする場面においての1人1台端末の使用を、研修等を通して共有し、新たな使用方法についても検討を行う。

（3） 学びの保障

希望する不登校児童生徒に対し自宅や教育支援センター（大山塾）へ向けた授業配信を実施し、リアルタイムでの参加や視聴など、柔軟な学習方法を提供する。また、希望者には1人1台端末を活用した教育相談を実施し、個別の悩みや課題に合わせた相談・指導を行う。

外国人児童生徒の実態に応じて1人1台端末を活用した学習活動の支援を実施する。

《 1人1台端末利活用指標及び目標 》

項目	評価の指標	現状値（R6）	目標値（R8）
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の割合	小 69.2% 中 60.0%	小 100% 中 100%
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週 3 回以上使用させている学校の割合	小 53.9% 中 40.0%	小 80% 中 80%
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の割合	小 46.2% 中 60.0%	小 80% 中 80%
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の割合	小 53.9% 中 40.0%	小 80% 中 80%
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の割合	小 61.5% 中 40.0%	小 80% 中 80%
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の割合	実施可能 今後把握	小 100% 中 100%
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の割合	実施可能 今後把握	小 100% 中 100%
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の割合	実施可能 今後把握	小 100% 中 100%
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の割合	実施可能 今後把握	小 100% 中 100%